TeSH SU創出共同機関向けセミナー

# そのシーズ、製薬会社が買いますか？

## ―社会実装に必要な要点―

### ライフサイエンス研究者のためのスタートアップ知財戦略

製薬会社がシーズの導入を判断する際に精査する「権利範囲とそれを裏付けるデータ」「論文・学会発表と出願の順序」「共同研究契約上の権利帰属」の多くは、研究の初期段階で決まり、後からの挽回は困難です。知財戦略は、成果が出てから考えるものではなく、プロジェクト開始時から研究計画と一体で実装すべきものです。ライフサイエンス領域、特に創薬（天然物・生薬由来創薬を含む）、バイオ、医療機器、再生医療、デジタルヘルス等では、研究開発期間が長く、薬事・臨床開発・規制対応・資金調達・事業会社との連携が複雑に絡み合うため、「何を特許化するか」「どの権利をスタートアップの中核資産とするか」「どの段階でファーマや事業会社と組むべきか」といった判断が、将来の企業価値やディール条件を大きく左右します。本セミナーでは、ライフサイエンス領域の大学発・研究者発スタートアップを念頭に、知財を起点とした事業戦略の立て方、研究成果を事業化可能な知財ポートフォリオへ育てる視点、ファーマとの共同研究・ライセンス・M&A等のディールにおいて注意すべき知財上の論点について伺います。研究者にとっては、自らの研究成果をどのように守り、事業化に向けて磨き込むべきかを考える機会とし、支援者にとっては、発明開示、特許出願、ギャップファンド、PoC、経営人材探索、事業会社連携をどのように接続して支援すべきかを学ぶ機会とします。研究成果を単なる出願対象としてではなく、スタートアップ創出とファーマ連携を見据えた戦略資産として捉え直すことを目的とします。

お申し込みはこちら

**2026**

## 12. 16(水) 17:30 – 19:00

**オフライン会場**

富山大学金森産業ホール
（旧学生会館ホール）

富山県富山市五福3190番地

**オンライン会場**

Zoom

**対象者**

TeSH創出共同機関
当事者の方々(研究者・学生ほか)
TeSH創出共同機関
支援者の方々(URA・産学連携担当・SUコーディネータほか)

## 講師

高島国際特許事務所

弁理士

駒谷 剛志氏



高島国際特許事務所ジェネラルマネージャー、特定侵害訴訟代理業務付記弁理士。神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科特命教授、同志社大学生命医科学部客員教授、慶應義塾大学法学部・大学院法学研究科非常勤講師、大阪大学大学院薬学研究科PharmaTrainコース講師。リヒテンシュタイン公国私立大学(UFL)知的財産・イノベーション国際研究センター(CIPIL)Academic Research Fellow、米国アクロン大学ロースクール(IPPI)Practitioner in Residence[客員研究員](Washington D.C.)。知的財産高等裁判所専門委員、AIPPI TRIPS常設委員会副委員長および伝統知識・遺伝資源常設委員会副委員長。博士(薬学)、博士(法学)、LL.M.(知財Certificate)、薬剤師(漢方薬・生薬認定)、製薬医学認定士、知財アナリスト等の資格・専門性を有する、ライフサイエンス・医薬・バイオ分野の知財戦略に精通した専門家。東京大学薬学部卒業。スイス・ロシュ社(バーゼル)にてPraktikant、Doktorandとして約5年間非臨床研究に従事し、東京大学大学院薬学系研究科博士後期課程修了(博士(薬学))。以後、弁理士として国内外の製薬・バイオ・医療関連分野の知財実務に長年携わる。特許庁のIPAS知財メンター、厚生労働省MEDISO非常勤サポーター。

問い合わせ Mail:tesh-ku@ml.kanazawa-u.ac.jp
担当 金沢大学 先端科学・社会共創推進機構 大山真吾

お問い合わせは、上記のメールアドレス宛に【件名：ハイブリッドセミナーの問い合わせ】とご記入ください。